

報道関係者各位

2010年8月12日

日本シー・エー・ディー株式会社

日本シー・エー・ディー、ネットワークシステムの検証・評価用に 回線遅延シミュレータ「Ethdelay」の新モデルを発売

～より小型筐体で、最大 200Mbps のネットワークにおける「帯域」「遅延」「ロス」を再現～

日本シー・エー・ディー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：小俣 光之）は、本日、回線遅延シミュレータ「Ethdelay」（イーサディレイ）シリーズの新モデル、「EthdelayEx（イーサディレイ・イーエックス）」を発売したことを発表します。本日より受注を開始し、9月1日より出荷を開始します。本製品は、様々な条件のネットワーク回線の遅延状況をシミュレートし、ネットワークシステムの評価・検証を支援するアプライアンス製品です。

「Ethdelay」シリーズは、“カンタン設定、つなぐだけ”をコンセプトに開発したネットワークシミュレータで、「帯域」「遅延」「ロス率」の3つのパラメータを与えることで、アナログ回線や ISDN 回線などの低速回線、または衛星回線や海外を経由するような遅延の大きな回線を簡単に再現することができます。シンプルな機能と操作の容易性が特徴で、ネットワークシステムの検証・評価用としてシステムハウスやユーザ企業の運用管理部門のほか、インターネット回線の高速化ツールや、シンクライアント製品を扱う企業でも、製品デモ用のユーティリティとして幅広く採用いただいております。

本日発売の「EthdelayEx」は、2006年より市場に投入している従来モデル「Ethdelay」と「EthdelayPro」の中間に位置するモデルで、容易に持ち運べる小型筐体でありながら、200Mbpsの帯域ネットワークに対応した製品です。シリーズ中で最も携帯性に優れ、10Mbpsまでの帯域に対応可能な Ethdelay と、ラックマウント型で 500Mbps まで対応可能な EthdelayPro という両製品の長所を取り入れ、コンパクトな筐体（44.0mm × 230.0mm × 152.1mm。EthdelayPro の約 3 分の 1）ながらも、200Mbps までの帯域を再現できます。これにより、データセンターで行うネットワーク回線の遅延シミュレーションや、ネットワーク環境で利用するソフトウェア製品のデモンストレーションなど、幅広いニーズにきめ細かく対応します。

近年、クラウドコンピューティングへの関心が高まり、インフラ企業やシステムハウスを中心に、「小型で手軽に使える回線遅延シミュレータで、全国のデータセンター間のネットワークを評価・検証したい」というニーズが急増しています。また、インターネット回線の高速化ツールや、シンクライアント製品を扱う企業の方々からも、「デモ用ユーティリティとして、小

型ながら大容量のネットワークに対応できる製品が欲しい」という声が多数寄せられておりました。EthdelayEx は、こうしたお客様の声にお応えし、机の上に置いて大規模クラウドコンピューティング環境を展開できる高機能性と、外出先での製品デモやプレゼンテーションを容易にするコンパクトな携帯性の両方を備えています。

EthdelayEx の販売価格は、消費税込み 19 万 8000 円です。回線遅延シミュレータは、複雑な機能を持った製品は非常に高価で、年間使用料が 500 万円前後、また機能を絞り込んだ製品でも、販売価格は 30 万円を超えているものが一般的です(※)。当社の Ethdelay シリーズは、リーズナブルな価格でありながらも使いやすく、あらゆる IT 企業のニーズに応え、高コストパフォーマンスを実現する製品です。

※ 価格については弊社調べ。

本製品の販売形態は、代理店での販売に加え、システムインテグレーターなどのビジネスパートナーへの OEM 供給を計画しており、初年度で 500 台の販売を目標としています。

■ Ethdelay 全般について（今回発表の EthdelayEx についても共通）

○ 主な機能

・帯域制限機能

回線を流れる通信量を制限することができます
主に低速な回線のシミュレーションに用います

・遅延機能

回線を流れるパケットの到着を遅らせることができます
主に衛星回線や海外を経由する回線などのシミュレーションに用います

・パケットロス機能

回線を流れるパケットを指定した確率で消失させることができます
主に携帯電話などの不安定な回線のシミュレーションに用います

・グラフ表示機能

パケットの転送状況を視覚化して表示することができます

・履歴ダウンロード機能

パケット転送状況の履歴を CSV ファイルとしてダウンロードすることができます

○ 特徴

・簡単設定、つなぐだけ

回線のパラメータは Web ブラウザから設定可能
難しいコマンドなどは覚える必要がありません

・様々な回線をシミュレート

任意の帯域・遅延・ロス率を設定でき、様々な回線を再現可能
上り下りで性質の違う回線にも対応

- ・通信プロトコルによる制限は無し

通常のネットワークスイッチ（ハブ）と同じ扱いになるため、イーサネット上のあらゆるプロトコルに対応

ネットワーク構成変更も一切不要です

■ EthdelayEx（今回発表製品）仕様

制限帯域：10Kbps～200Mbps（1Kbps 単位で指定）

制限アルゴリズム：トークンバケツ方式 / リーキーバケツ方式 から選択

ロス率：0～100%（0.01%単位で指定）

遅延時間：0～10sec（1msec 単位で指定）

分散アルゴリズム：固定 / 一様分布 / 正規分布 から選択

ログ出力形式：CSV 形式

ログ蓄積時間：最大 6 時間

電源及び消費電力：100V～240V 60W

使用温度範囲：0～45℃（ただし、結露なきこと）

外形サイズ：44.0mm × 230.0mm × 152.1mm

重量：約 2.5Kg

その他：欧州 RoHS 指令準拠、FCC クラス B、CE クラス B

■ 価格

EthdelayEx 198,000 円（税込）

■ EthdelayEx 公式 Web サイト

<http://www.ncad.co.jp/contents/products/it/EthdelayEx/>

※ 以下に製品の写真およびスクリーンショットをご用意しております。記事執筆時にご利用ください。

- EthdelayEx 筐体写真

http://www.ncad.co.jp/images/products/it/EthdelayEx/image_001.jpg

- EthdelayEx スクリーンショット

http://www.ncad.co.jp/images/products/it/EthdelayEx/image_002.jpg

■ 評価機お貸出しサービス

ご導入を検討されているお客様および製品評価記事執筆予定の記者・ジャーナリスト・ブロガーの方を対象に、本製品の評価機を無償でお貸出しするサービスを実施しています。詳しくはお問い合わせください。なお、評価機の数に限りがありますので、お貸出しまでにお時間をいただく場合がありますので、予めご了承下さい。

【日本シー・エー・ディー株式会社について】

1977年に設立。日本で初めての大学発ベンチャー企業であり、東工大発ベンチャーの認定第1号。

ネットワーク関連技術や情報セキュリティ対策を中心とした企業向けIT製品の開発販売に加え、システムコンサルティングやソフトウェアの受託開発を行っています。

社名：日本シー・エー・ディー株式会社

本社所在地：東京都新宿区下落合 2-14-1 CAD ビル

設立：1977年4月

資本金：32,000,000円

代表取締役：小俣 光之

加盟団体：WIDE Project、Linux Business Initiative

主な事業：ソフトウェア開発販売、ハードウェア開発販売、実装技術提供

詳しくは <http://www.ncad.co.jp/> をご覧ください。

【商標名称等について】

- ・ Ethdelay は、日本シー・エー・ディー株式会社の商標です。
- ・ その他、掲載されている会社名および製品名は、各社・各団体の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

日本シー・エー・ディー株式会社 IT事業部（担当：山本、種田）

〒161-0033 東京都新宿区下落合 2-14-1 CAD ビル

TEL：03-3565-3011 FAX：03-3565-3611

E-mail：products@ncad.co.jp

【本件に関する報道関係のお問合せ先】

日本シー・エー・ディー株式会社 IT事業部（担当：山本、種田）

〒161-0033 東京都新宿区下落合 2-14-1 CAD ビル

TEL：03-3565-3011 FAX：03-3565-3611

E-mail：products@ncad.co.jp

※ 掲載されている情報は、本リリース発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。